

要請番号 (JL02418A28)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ラオス	G112 陸上競技		個別	交替 2代目	2年	・ 2018/3 ・ 2019/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

チャンパサック県教育スポーツ局

3) 任地 (チャンパサック県パクセー郡) JICA事務所の所在地 (ビエンチャン特別市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機 で 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1)県内における各種スポーツの普及・振興 2)競技大会の企画・実施 3)国内で開催されるスポーツ大会への選手派遣 4)スタジアムの運営・管理等を行っている。陸上競技の青年海外協力隊(JV)は2016年に初代隊員が派遣され、県代表選手の育成と初心者への陸上指導に取り組んでいる。選手の多くは学生であるため、練習は学校が終わる夕方から行われている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ラオスの学生スポーツでは、3年に1度開催される全国学生スポーツ大会と、同じく3年に1度開催される国体での成績が重視される傾向が強く、大会前には臨時コーチが雇われ、強化練習が行われる。一方、大会が無い時期は、コーチがいなくなり、練習が行われないことも多い。現在活動中の青年海外協力隊(JV)は、大会が無い時期でも、選手がモチベーションを保てるよう、サバナケット県に配属されている陸上競技JVと合同で記録会を開催したり、競技人口を増やすために、初心者向けの陸上指導を行ったりしている。継続してボランティアを派遣することで、競技レベルの向上と競技人口の拡大が期待されるため、要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 選手への陸上指導(初心者から県代表レベルまで)
- 陸上競技の普及・振興のための活動の企画・実施
- 記録会等のイベントの企画・実施

*投擲種目は競技場の安全面の観点から、指導予定はない。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

競技場、トラック(8レーン)、幅跳びピット1か所、高跳びセッター式、ブロック5台、ハードル4台、ミニハードル10台、投擲器具(やり投げ、砲丸、円盤、ハンマー)

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・ 課長(40代男性)
- ・ 同僚2名(30代男性1名、40代男性1名、陸上の指導者ではない)

・指導対象: 約10名(中学生から大学生が中心、レベルは初心者から県代表選手が中心だが、1名は女子短距離のラオス代表選手)

5) 活動使用言語

ラオ語

6) 生活使用言語

ラオ語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許/資格等]: ()

[学歴]: () 備考:

[性別]: () 備考:

[経験]: (競技経験) 5年以上 備考: 指導のため

[参考情報]:

- ・短距離の指導経験があることが望ましい

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (熱帯モンスーン気候) 気温: (15~35℃位) [電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可)

[水源]: (安定)

【特記事項】

- ・選手のうち1名(女性)は短距離ラオス代表選手で2020年の東京五輪出場を目指している。
- ・2018年11月: 国体、2020年: 全国学生スポーツ大会、2021年: 国体(開催時期は、変更の可能性あり)

【類似職種】